



ハゼの仲間では珍しく背鰭が1基。オスの頭部は大きく、縦扁する。体側の斑紋は変異が大きい。

ハゼ科 ミズハゼ属

【全長】9cm前後

イソミミズハゼ

学名: *Luciogobius sp.6*

分布域

富山県・岩手県以南に分布する。

生息域

内湾や海岸・汽水域の転石下や礫の隙間に生息するとされる。



尾鰭の後縁が透明に縁取られる。

頭部は大きく胴体は比較的太い。体色は茶褐色で比較的安定する。全身に淡色の小斑点が散在する。尾鰭の外縁に明瞭な透明域がある。同属他種との識別は比較的容易。写真の個体は3月初旬に汽水域の砂底部で採集した個体(成魚のみ)。生息環境は岩礫性海岸とされる。成魚が産卵に汽水域の砂泥底部に侵入してくる。詳細は不明。生息数は多くないと思われる。飼育下では冷凍赤虫を好み、動物食性だと思われる。本種は新しく和名の付いた種で不明なことが多い。

水槽での飼育は比較的容易。海水を10~50%混ぜた汽水を用いる。塩分濃度に対する適応力は強い。非常に丈夫。

在来種

回遊魚

汽水魚

※ 全長は8cm前後で、体形はやや太く、オスは頭部が大きく、著しく扁平する。体色は茶褐色~濃い褐色でやや変異が視られる。胸鰭の遊離軟条は視られない。生態など不明なことが多い。